



三菱電機の重点成長事業

Mitsubishi Electric Key Growth Businesses

2021/6/3

三菱電機株式会社

1. 2025年度目標

～製造の自動化と、品質・生産性の向上を実現する機器・装置・ソリューションをグローバルに提供し、モノづくりの現場から産業と技術革新の基盤構築に貢献～

20年度 売上高2,650億円 → 25年度 売上高3,500億円以上



2. 主要施策

(1) 成長戦略

- ①シーケンサ・サーボ・CNCへの経営資源集中によるグローバル成長戦略の加速
- ②三菱電機の制御・駆動技術*を結集し、コアコンポーネントの競争力を強化
- ③お客様のありたい姿の共創を通じた製造技術革新への貢献
- ④グローバルでのお客様へのソリューション提供・製品安定供給体制の強化

(2) 統合ソリューションの提供

- ①FA-IT統合ソリューション「e-F@ctory」の進化
(コアコンポーネント×フィールドナレッジ×先進的デジタル技術)
- ②クラウドを活用した遠隔監視・保全サービス「iQ Care」の拡充

(3) 社会課題解決の取組み

- ①自動化技術を活用した社会課題解決への貢献(労働力不足、食料・水不足、医療・福祉)
- ②生産現場への省エネ機器・ソリューションの提供を通じた脱炭素社会の実現



1. 2025年度目標

～優れた空調・換気技術とライフサイクルソリューションを提供するグローバル
総合空調冷熱メーカーとして安心・安全で快適な社会や脱炭素社会の実現に貢献～

20年度 売上高8,100億円 → 25年度 売上高11,000億円以上



2. 主要施策

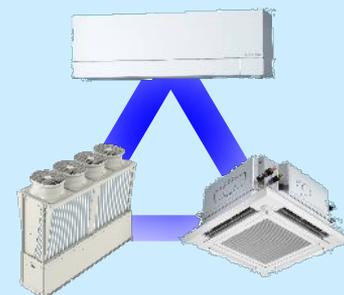
(1) 成長戦略

- ①各地域ニーズに密着した新商品・サービスの導入の加速
 - ・欧州・米州・中国・アジアでの空調R & Dセンターの新設・増強
- ②グローバルでの遠隔監視・保守事業とライフサイクルソリューション事業の展開
 - ・グローバルに連携するクラウド・IoT共通基盤(Linova)の構築
 - ・ライフサイクルソリューションの実現に向けた戦略的な出資・協業

(2) 統合ソリューション（ライフサイクルソリューション）の提供

住宅用から業務用まで幅広い領域の空間環境に対し、製品ライフサイクルを通して各種ソリューションをグローバルに提供する。

- ①質の高い空間環境と脱炭素社会の両立を実現するシステムを提案し運用もサポート
- ②IoTを活用した遠隔での的確な運転状況診断とスピーディな保守対応
- ③ビル管理システム等の運用データ分析による更に質の高い空間実現へのシステム追加、更新提案



(3) 社会課題解決の取組み

成長分野（脱炭素化、感染症対策、DX化）に関わる空調ビジネス強化

- ①Air to Water*事業：脱炭素社会に向け、欧州で続伸するヒートポンプ式暖房・給湯市場に対応した現地開発・供給体制の強化
- ②換気事業：コロナ禍で需要の高まる高効率換気・衛生対応ソリューションの開発・提案強化
- ③ITC*事業：テレワークや5G普及に伴う需要増へのソリューション提案強化、工事・保守の獲得



Air to Water

1. 2025年度目標

～保守サービス拡大を基盤に、蓄積された技術・データの利活用と多事業シナジーを活かしたソリューション提供によりスマートビル、スマートシティを実現～

20年度 売上高5,000億円 → 25年度 売上高6,500億円以上



2. 主要施策

(1) 成長戦略

新設・保守・リニューアルまで一貫したグローバル昇降機事業の強化

- ① 基幹製品の高度化と地域戦略機種種の拡充による新設昇降機ポートフォリオの拡大
- ② 遠隔監視・設備運用データ利活用により安心を支える保守サービス事業の拡大
- ③ 保守専門事業者との協業等により幅広いニーズに対応する保守・リニューアル拡大

(2) 統合ソリューションの提供

- ① 昇降機・空調・照明・換気等の各種ビル設備×保守・運用管理のフィールドナレッジ×ICT*によるスマートビルソリューションの提供
- ② グローバルに連携したクラウド・IoT共通基盤(Ville-feuille*)の進化
- ③ 地域エネルギー管理等と連携しスマートシティ実現に貢献



(3) 社会課題解決の取組み

- ① 脱炭素社会構築に向けた省エネ・EMS*への取り組み(ZEB*, BEMS*, AEMS*)
- ② より快適で安全・安心なビル空間創造への貢献(非接触ソリューション, 人流制御, セキュリティ)
- ③ 労働力不足解消に向けた省力化への取り組み(ロボット移動支援等)

ICT : Information and Communication Technology

Ville-feuille : ビル内のデータを吸い上げ蓄積し活用できる当社独自のIoTオープンプラットフォーム EMS : Energy Management System

ZEB : Net Zero Energy Building

BEMS : Building Energy Management System

AEMS : Area Energy Management System

1. 2025年度目標

～電動化技術(パワーデバイス、冷却、高密度巻線)、ADAS技術(高精度測位、ミリ波、画像認識)を活かした商品開発により“地球環境と安心・安全”へ貢献～

20年度 売上高1,000億円 → 25年度 売上高3,000億円以上



2. 主要施策

(1) 成長戦略

- ①マイルドHEV車～バッテリーEVまで、地域・カーメーカーの電動化ポートフォリオニーズを踏まえ、当社コア技術を活かした高効率な電動化部品ラインナップの拡充
- ②当社独自の高速演算機能や人工知能を組み込んだスムーズで安定した車両制御に、高精度測位、ミリ波、画像認識といった当社の強み技術、更には他社連携した灯火制御を組み合わせた新たな付加価値をもったADASシステムの提案



(2) 統合ソリューションの提供

- ①ADAS/自動運転技術を活用したMaaS*領域での新事業創出（高付加価値位置情報提供サービスや大型施設内の自動搬送システム等）
- ②自社保有のインフラ機能・サービス（路側センサ、管制システム、衛星測位、等）と協調した狭域自動運転システムの提案

(3) 社会課題解決の取組み

- ①高効率な電動化部品の拡充による脱炭素への貢献とADAS/自動運転事業による安心・安全な社会への貢献
- ②病院や大型施設内の自動搬送システムや狭域自動運転システムの提供による労働者不足・高齢化などの社会課題解決への貢献



1. 2025年度目標

～事業シナジーで培ったIGBT*/SiC*で高成長が見込まれる自動車/民生分野へ注力。
機器の省エネ化を実現するキーデバイスを提供し、脱炭素社会へ貢献～

20年度 売上高1,500億円 → 25年度 売上高2,400億円以上



2. 主要施策

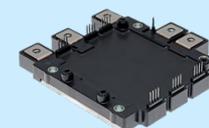
(1) 成長戦略

電動化が進む自動車分野と、省エネのためのインバーター化が進む民生分野に注力し売上拡大

- ①自動車分野：豊富な実績、高効率/小型化などのトップクラスの技術力も活かし、当社が得意とするIGBTやSiCを展開することにより、製品ラインアップを強化
- ②民生分野：業界トップシェアのIPM*で低損失の強みを活かし、大容量から小容量まで更なる高機能化と製品ラインアップを充実

(2) 統合ソリューションの提供

事業シナジーを活かし、4つの領域における各ソリューションのコアコンポーネントとして、キーデバイスを供給し、事業拡大に貢献



電動自動車用
パワーデバイス

(3) 社会課題解決の取組み

小型化、高速動作、高温動作に適したSiCの開発を強化し、より省エネ性に優れた製品を提供することで、世界的な課題である脱炭素社会の実現に貢献



民生(エアコン)用
パワーデバイス

IGBT : Insulated Gate Bipolar Transistor、絶縁型ゲート型バイポーラトランジスタ SiC : Silicon Carbide IPM : Intelligent Power Module

本資料に記載されている三菱電機グループの業績見通しの将来に関する記述は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと大きく異なることがあります。

なお、業績等に影響を及ぼす可能性がある要因のうち、主なものは以下のとおりですが、新たな要因が発生する可能性もあります。

- ① 世界の経済状況・社会情勢及び規制や税制等各種法規の動向
- ② 為替相場
- ③ 株式相場
- ④ 製品需給状況及び部材調達環境
- ⑤ 資金調達環境
- ⑥ 重要な特許の成立及び実施許諾並びに特許関連の係争等
- ⑦ 環境に関連する規制や問題
- ⑧ 製品やサービスの欠陥や瑕疵等
- ⑨ 訴訟その他の法的手続き
- ⑩ 急激な技術変化や、新技術を用いた製品の開発、製造及び市場投入時期
- ⑪ 事業構造改革
- ⑫ 情報セキュリティ
- ⑬ 地震・台風・津波・火災等の大規模災害
- ⑭ テロ・戦争、感染症の流行等による社会的・政治的混乱
- ⑮ 当社役員・大株主・関係会社等に関する重要事項

